

第7回 富士川町新中学校開校検討委員会

日時：令和5年5月24日（水）

午後7時～

場所：富士川町役場1階会議室

【 次 第 】

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長あいさつ

4 自己紹介

5 副委員長の選任

6 委員長あいさつ

7 説明事項

- ・ これまでの経過及び富士川町新中学校開校検討委員会について 資料1

8 協議事項

- (1) 学校経営案について（学校運営部会） 資料2
- (2) 学校名の提言に関する協議の結果について（教育委員会） 口頭説明
- (3) 制服・体操服に関するアンケートの内容について（地域部会） 資料3

9 その他

10 閉会

富士川町新中学校開校検討委員会 委員名簿

敬称略

No.	委員種別	氏名	所属及び役職
1	学識経験者	田草川 眞	元教育委員
2		尾崎 源 武	元学校長（増穂地区）
3		雨宮 俊 夫	元学校長（鰺沢地区）
4		小林 達 也	元学校長（鰺沢地区）
5		内田 浩	学校評議員（増穂中学校）
6		雨宮 弥太郎	学校評議員（鰺沢中学校）
7	地区の代表者	永井 利 彦	最勝寺区 区長 （富士川町区長会 会長）
8		樋口 正 彦	天神中條区 区長
9		井上 修	穂積区 区長
10		深澤 文 治	鰺沢中区 区長
11	各小中学校長	小林 淳 二	増穂中学校 校長
12		小池 剛	鰺沢中学校 校長
13		早川 卓 也	増穂小学校 校長
14		笠井 里 香	増穂南小学校 校長
15		山本 撰	鰺沢小学校 校長
16	各学校PTA代表者	深澤 聡	増穂小学校PTA 会長
17		武居 正道	増穂南小学校PTA 会長
18		海野 克 也	鰺沢小学校PTA 会長
19		岩間 祐 子	増穂中学校PTA 監事
20		坂尾 赤 梨	鰺沢中学校PTA 副会長
21	保育所等の保護者の代表者	未 定	町立保育所保護者連合会 会長

◆中学校統合の経過

- 平成22年 3月 8日 増穂町、鯉沢町合併 富士川町誕生
- 平成30年 9月25日 町総合教育会議において「今後の富士川町教育のあり方」について議論する
- 平成30年11月19日 富士川町小中学校あり方検討会設置（全5回開催）
- 平成31年 3月22日 富士川町小中学校のあり方基本方針提言書 受領
- 令和 元年 8月20日 富士川町小中学校のあり方懇話会の設置（全3回開催）
- 11月11日 富士川町小中学校のあり方懇話会の意見書 受領

令和 2年 1月 第2次富士川町学校規模適正化基本方針を策定

◆第2次富士川町学校規模適正化基本方針の概要

1) 教育制度

新たな教育制度も検討するなかで、現状の教育制度を引き続き進め、今後とも小中連携教育を推進していく。

2) 適正規模

<中学校>

1学年2学級を下限とする。

方針：中学校においては協調性や社会性を育む必要がある。

3) 適正配置

<中学校>

通学距離 概ね6km以内とする。

通学時間 概ね1時間以内とする。

中学校の方針：増穂中学校及び鯉沢中学校は、多様な人間関係を築きながら切磋琢磨し、協調性や社会性を育む機会が確保できる教育環境を整備する必要があることから、両校を統合して、歴史や伝統を併せ持つ新たな中学校として設置する。

4) 留意点

- ・中学校を統合する場合には、新たな学校での生活に適応できるよう、再編前に学校間で事前交流を実施するなど、子どもたちに精神的な不安や動揺を生じさせないよう配慮する。
- ・中学校の統合の時期については、令和4年度以降の生徒数の減少状況を考慮し、慎重に検討していく。
- ・中学校の統合をする場合の新たな学校の位置は、生徒の通学距離・時間を考慮し、慎重に検討していく。

- 令和 2年 4月～ 町と教育委員会において、「学校配置等」について検討を進め、新中学校の設置場所の候補地を増穂商業高校の跡地とする
- 7月20日 「増穂中学校と鯉沢中学校の統合、増穂商業高校の跡地とその施設の活用」について、町議会の同意を得る
- 8月25日 町総合教育会議において「第2次富士川町学校規模適正化基本方針に基づく新たな中学校」について、新中学校の候補地を増穂商業高校の跡地とする方針を決定
- 11月10日 富士川町新中学校開校検討委員会を設置
- 令和 3年 3月 5日 令和3年第1回町議会定例会での所信表明で、増穂商業高校跡地を候補地とし、令和5年4月開校を目指して、検討を進めていることを公表
- 5月27日 町議会から教育委員会に、新たな中学校開校に向けた提言書が提出される
- 5月31日 第2回富士川町新中学校開校検討委員会開催
(校名・校歌・校章)
- 6月23日 「新中学校開校に向けた保護者説明会」を開催
- ～7月2日 (増穂中学校・鯉沢中学校・増穂小学校の3箇所)
- 8月 新中学校の校名を募集(富士川町民・富士川町にゆかりのある方・富士川町立小中学校の児童生徒)
新中学校の校歌フレーズを募集(児童生徒)
- 8月23日 第3回富士川町新中学校開校検討委員会開催(書面)
(教室等再配置案・施設改修案)
- 10月 制服等アンケートを実施(児童生徒・保護者)

- 令和 4年 1月16日 望月利樹氏が町長に就任
- 1月31日 令和4年第1回町議会臨時会での所信表明で、中学校統合の在り方について再度検討をし直すことを進めていることを公表
- 2月 8日 **町総合教育会議において「中学校統合」について協議し、令和5年4月開校の延期を決定**
- 2月22日 第4回富士川町新中学校開校検討委員会開催（統合延期）
- 3月15日 町の政策会議で中学校統合方針の決定方法の決定
（アンケート・対話集会・説明会）
- 3月 中学校統合に関するアンケート調査を実施（1回目）
（町内小中学校の児童生徒・保護者・教職員）
- 5月 中学校統合に関するアンケート調査を実施（2回目）
（町民）
- 6月21日 「中学校統合に関する対話集会」を開催
～30日 （増穂中学校・鯉沢中学校・増穂小学校の3箇所）
- 7月13日 **総合教育会議において「中学校統合」について協議し、中学校の統合を進めていくことを決定**
- 8月 新たな中学校に関するアンケート調査を実施（3回目）
（町内小中学校の児童生徒・保護者・教職員）
- 9月22日 町議会から町及び委員会に、新たな中学校開校に向けた提言書が提出される
- 9月26日 教育委員会定例会において、新たな中学校の方針（案）について協議
- 10月 3日 **総合教育会議において「新たな中学校の方針（案）」について協議し、方針（案）を決定**
- 10月13日 「新たな中学校に関する対話集会」を開催
～14日 （2日とも町民会館）
- 10月27日 教育委員会定例会において、新たな中学校の方針について協議
- 11月 4日 **総合教育会議において「新たな中学校の方針」について協議し、方針を決定**

新たな中学校の方針

設置理由	富士川町の全ての生徒が、多様な人間関係を築きながら切磋琢磨し、協調性や社会性を育む機会が得られるよう、教育環境を整備する必要があるため
設置方法	増穂中学校と鯉沢中学校を統合し、両校の歴史や伝統を併せ持つ新たな中学校を設置する
設置場所	富士川町天神中條 9 9 1 - 1 (現増穂中学校敷地)
開校時期	令和 7 年 4 月に新たな中学校を開校する
校舎等	令和 5 年度から新校舎の建設事業に着手し、令和 9 年度夏季休業中の移転を目指す 開校から新校舎への移転までは、増穂中学校を仮の校舎とする

●設置場所の主な決定理由

- ・民家が多く、地域住民の見守りができているため、安全面での不安が少ないこと
- ・児童生徒の人口分布の中心が増穂中学校に近いこと
- ・通学手段について、現状からあまり変更がないこと
- ・既存の屋内運動場を活用できること
- ・自然災害への不安が少ないこと

●開校時期の決定理由

- ・なるべく早い時期の統合が望ましいが、時間をかけて調整や生徒の交流を行う必要があるため

●移転を夏季休業中とした理由

- ・教育活動の妨げにならない時期が望ましいため

●仮の校舎の増穂中学校とした理由

- ・ある程度環境が整っており、あまり費用をかけずに運用できるため

- 令和 5年 1月26日 第5回富士川町新中学校開校検討委員会開催（再開）
- 2月24日 教育委員会定例会において、「町立小中学校設置条例の一部を改正する条例」について協議し、決定
（増穂中学校・鯉沢中学校→（仮称）統合中学校）
- 3月17日 令和5年第1回町議会定例会において、「町立小中学校設置条例の一部を改正する条例」が可決
新中学校に係る用地測量、地質調査、設計委託の予算が可決
仮校舎（現増穂中学校）の改修設計の予算が可決
- 3月22日 第6回富士川町新中学校開校検討委員会開催
（校名案決定）
- 4月 7日 検討委員会から教育委員会に「新中学校に関する提言書」が提出される
- 4月25日 教育委員会定例会において、学校名について協議
- 5月24日 第6回富士川町新中学校開校検討委員会開催
（学校経営案、校名、制服・体操服アンケート）

富士川町新中学校開校検討委員会設置要綱

令和2年10月22日
教委告示第17-2号

(設置)

第1条 富士川町立中学校の統合を円滑に推進するとともに、これに伴い設置する新たな中学校の開校に向けての準備を行うため、富士川町新中学校開校検討委員会(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 検討委員会は、次に掲げる事項について検討し、その結果を教育委員会に報告するものとする。

- (1) 学校の名称、校歌、校章等に関する事。
- (2) 学校の教育課程及び学校行事等に関する事。
- (3) P T A等の組織及び運営に関する事。
- (4) 学校の設備及び備品等に関する事。
- (5) 学校の通学体制に関する事。
- (6) 学校の歴史及び伝統の保存に関する事。
- (7) その他開校準備に必要な事項に関する事。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員25人以内をもって組織し、次に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地区の代表者
- (3) 各小中学校長
- (4) 各小中学校 P T A の代表者
- (5) 保育所及び幼稚園の保護者の代表者
- (6) その他教育委員会が適当と認めた者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から新たな中学校が新校舎に移転するときまでとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

- 3 委員長は、検討委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、検討委員会を公開により行うことができる。

(部会)

第7条 検討委員会は、第2条に規定する検討事項について必要があると認めるときは、調査検討部会(以下「部会」という。)を設置することができる。

- 2 部会は、委員長が任命する委員をもって組織する。
- 3 部会に部長及び副部長をそれぞれ1名置き、委員の互選によりこれを定める。
- 4 部長は、部会を代表し、部会の結果を検討委員会に報告する。
- 5 副部長は、部長を補佐し、部長に事故あるとき、又は部長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 6 部会の会議は、部長が招集し、その議長となる。
- 7 部会の会議には、関係する者が出席し発言することができる。

(庶務)

第8条 検討委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が検討委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、公布の日から施行する。

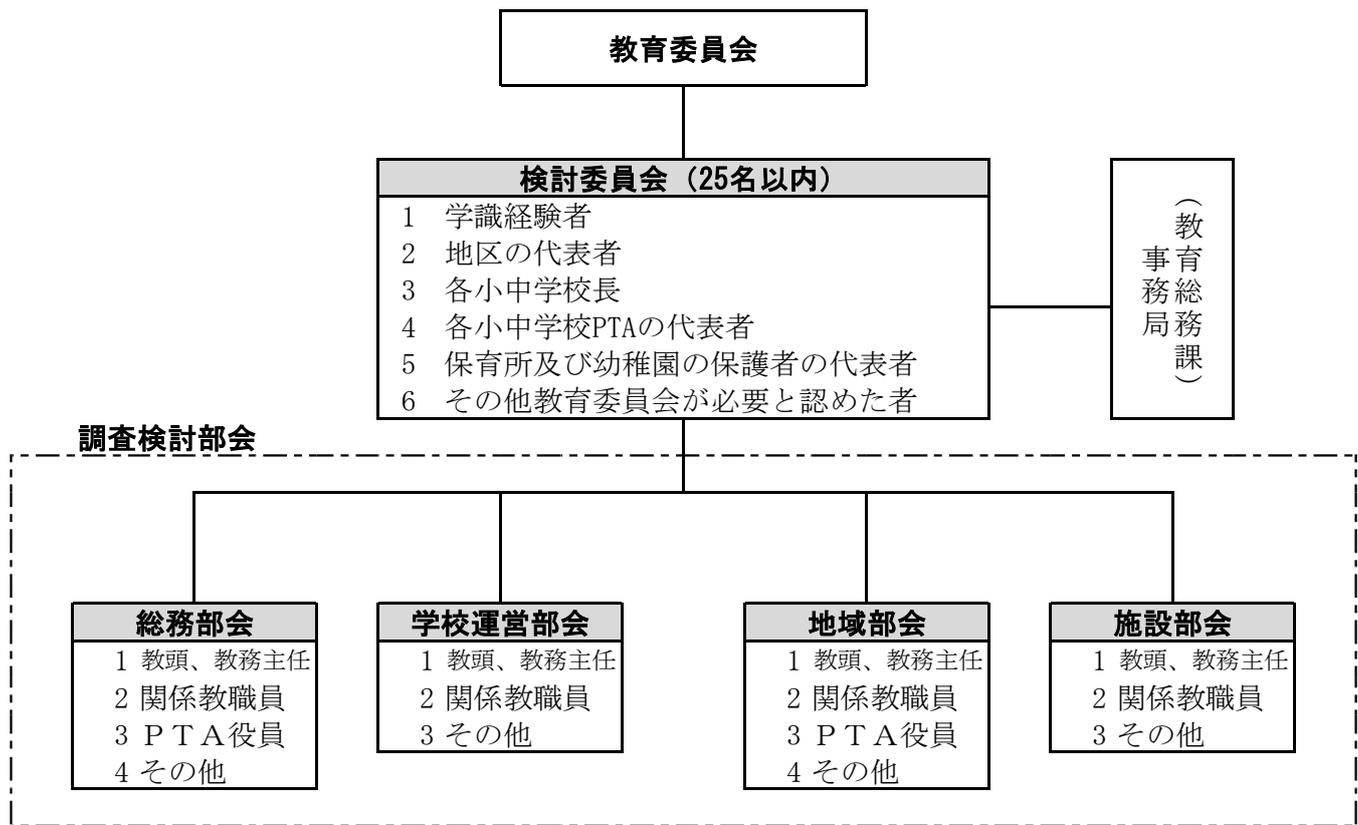
(会議招集の特例)

- 2 この告示の施行の日以後最初に開かれる検討委員会は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

附 則(令和5年2月24日教委告示第4号)

この告示は、公布の日から施行する。

富士川町新中学校開校検討委員会 組織及び検討項目



調査検討部会の担当事務

部 会 名	担 当 事 務
総務部会	学校の名称等に関すること
	① 学校の名称、校歌、校章、校旗 ② 式典行事 ③ その他
学校運営部会	教育課程及び学校行事等に関すること
	① 教育目標 ② 教育課程の編成 ③ 学校行事 ④ 生徒会 ⑤ 部活動 ⑥ 学校組織 ⑦ 交流学习 ⑧ その他
地域部会	通学体制及びP T A組織等に関すること
	① P T A組織編制、規約、役員、運営 ② 学校運営協議会 ③ 通学路、通学方法、安全対策等 ④ 制服、体操着等 ⑤ その他
施設部会	施設設備及び備品等に関すること
	① 施設改修、新校舎建設、設備等 ② 備品 (一般備品、教材備品、学校図書等) ③ 保存文書等 ④ 移転計画等 ⑤ その他

(仮称) 富士川町立統合中学校学校経営案について

「Society5.0」の到来に向けて、学校教育は大きな転換期を迎えている。文部科学省は、新しい時代における学校の在り方や役割について、次のように述べている。

「学校とは、社会への準備段階であると同時に、学校そのものが、子供たちや教職員、保護者、地域の人々などから構成される一つの社会でもある。子供たちは、学校も含めた社会の中で、生まれ育った環境に関わらず、また、障害の有無に関わらず、様々な人と関わりながら学び、その学びを通じて、自分の存在が認められることや、自分の活動によって何かを変えたり、社会をよりよくなりましたりできることなどの実感を持つことができる。子供たちに、新しい時代を切り拓(ひら)いていくために必要な資質・能力を育むためには、学校が社会や世界と接点を持ちつつ、多様な人々とつながりを保ちながら学ぶことのできる、開かれた環境となることが不可欠である。」(文部科学省「2030年の社会と子供たちの未来」)

また、令和5年度山梨県学校教育指導重点においては、これからの時代に必要な新たな能力として、「情報編集力」(自由な発想で柔軟に考える力)を説いている。さらに、第二次富士川町教育大綱(R4~8)における3つの柱(「豊かな感性・創造性を培い、社会を生き抜く力を育成する。」・「夢と志を持ち、新時代の可能性に挑戦する力を育成する。」・「自らの人生を設計し、生涯にわたって活躍できる環境を整える。」)においても、教育環境を取り巻く大きな変化に対応するための力を身に付けさせることが学校教育の使命であることを提唱している。

以上のことから、令和7年度開校予定の新しい中学校の学校経営案は、増穂中学校・鯉沢中学校のそれぞれの学校経営案をベースにしながらも、新しい時代に沿ったものにしていくことが求められる。国や県が打ち出した新時代における学校教育の使命と町の新たな中学校の方針(両校の歴史や伝統を併せ持つ学校)を基にして、新しい中学校の「学校経営案」を次の通り作成した。

(仮称) 富士川町立統合中学校学校経営案

一. 校訓

「共創」

(多様な価値観を持つ仲間とともに学ぶなかで、将来への希望・目標・使命の実現を目指す。)

二. 学校教育目標

「ふるさと富士川町に誇りを持ち、新たな時代(未来)を切り拓く生徒の育成」

三. 目指す生徒像

- ・確かな学力を身に付けた生徒
- ・仲間と協力し、学びあう生徒
- ・夢を持ち、努力できる生徒
- ・多様性を理解し、人を尊重できる生徒
- ・健康な身体と、しなやかな心を持つ生徒

四. 目指す教職員像

- ・絶えず学び続ける教職員
- ・生徒のために情熱を注ぐ教職員
- ・目標と課題意識を持ち職務を遂行する教職員
- ・仲間と力をあわせ切磋琢磨する教職員
- ・新たなことに積極的に挑戦する教職員

五. 目指す学校像

- ・通いたい、通わせたい、勤務したい学校
- ・地域や保護者から信頼される学校
- ・町の文化の中心となる学校

補足：富士川町唯一の中学校として、地域の文化を伝承し、発展させ、発信する学校を目指す。

- ・歴史や伝統を大切にしながら時代のニーズにあった学校

六. 学校経営基本方針

学習指導の充実

- ・学習指導要領に示される「資質・能力」を育むための授業研究を実施する。

補足：「資質・能力」とは、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」

- ・ICT 機器を効果的に使い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、深い学びが生まれる授業実践をする。

豊かな心の教育

- ・生徒理解に基づき、個に応じた指導及び支援を基本とした、生徒指導をおこなう。
- ・生徒一人ひとりに居場所や活躍の場があり、達成感が味わえる場を創造する。
- ・多様な価値観、自他を尊重する心を育てる教育を進める。
- ・リアルの世界を実感し、生きる喜びを感じる協働・体験活動を仕組む。

特別支援教育の推進

- ・一人ひとりの生徒に必要な支援が行き届き、生き生きと学習できる校内支援体制の整備を充実させる。
- ・「個別のニーズ」、「合理的配慮」の必要性を全職員が理解し、具現化していく。

学級経営力の向上

- ・生徒が自主的・主体的に活動する場を設定し、自ら考え、判断し、行動に移す自己指導能力を育成する。
- ・生徒一人ひとりの自己理解及び他者理解の深化を図り、多様性を尊重するような取り組みを実施する。

安心安全な生活環境づくり

- ・いじめ問題や不登校等の課題に対して、早期発見・早期対応に努めると同時に、予防に重点を置いた実践をおこなう。
- ・防災意識を高めるために、地域と連携して取り組みを実施し、主体的に行動できる生徒を育成する。

開かれた学校づくりの推進

- ・家庭、地域、関係機関との交流や協力体制を深め、積極的に情報発信する。
- ・学校運営協議会を中心に、地域社会の教育力を積極的に活用し、地域とともに学び成長する学校づくりを推進する。

小中連携の推進

- ・児童の実態や指導のあり方について理解を深め、一貫性のある教育を実践する。
- ・児童生徒や教職員の交流により、「中 1 ギャップ」を未然に防ぐなど、進学時のスムーズな移行に繋げる。

新時代に対応できる能力や資質の育成

- ・ICT 機器は文房具の一つと捉え、学びを豊かにするためのツールとして活用できる力を育成する。
- ・「正解のない課題」について仲間とともに討論し、納得解を導く「情報編集力」の育成を図る。

新たな中学校の制服・体操服等に関するアンケート

新中学校開校検討委員会 地域部会

令和7年4月に、増穂中学校と鰺沢中学校が統合し、新たな中学校が誕生する予定です。

新たな中学校の開校に向けて、新中学校開校検討委員会 地域部会という会議で、制服・体操服に関する話を話しあっています。そこで、新たな中学校に通う予定のみなさんに、アンケートを実施して意見をお聞きすることになりました。新たな中学校が良い学校になるように、ぜひご協力ください。

今回のアンケートは、制服の形について質問します。色や柄、素材については、別にお聞きします。

1. 次に当てはまるものを1つ選択してください

児童・生徒 保護者 教職員

2. 学校を1つ選んでください

増穂小学校 増穂南小学校 鰺沢小学校 増穂中学校 鰺沢中学校

3. 学年を1つ選んでください

小学4年生 小学5年生 小学6年生
 中学1年生 中学2年生 中学3年生

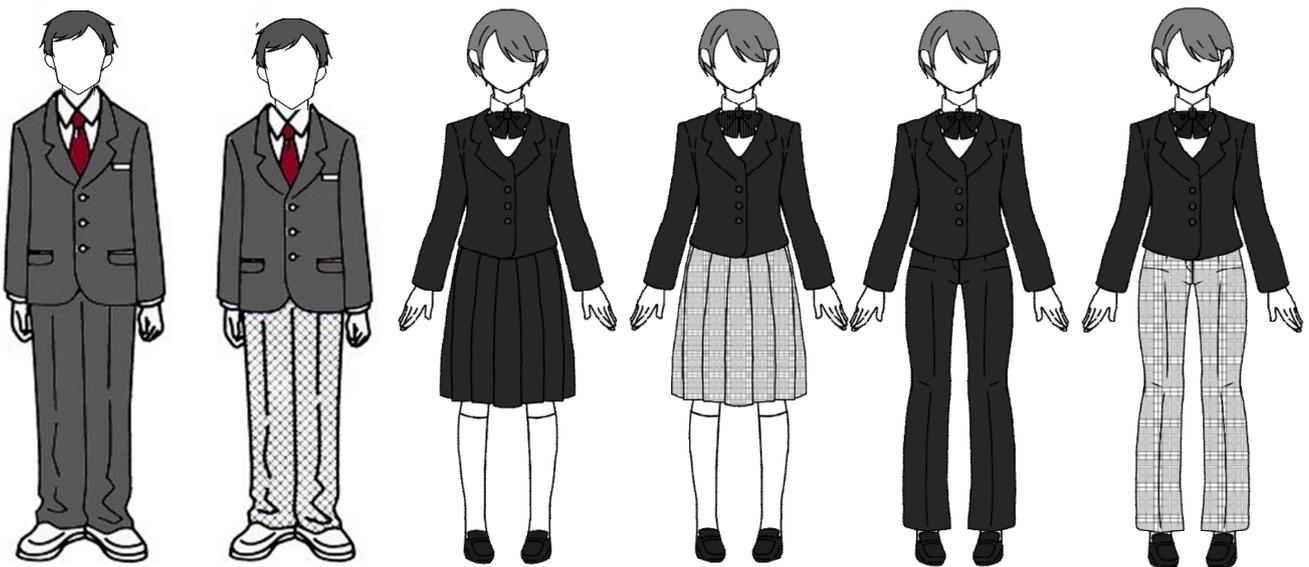
4. 制服のスタイルについて質問します。

学校の制服には色んなスタイル（形）があります。それぞれ特徴があって、いいところやわるいところがあります。イラストでも紹介しますので、表と一緒に読みながらみて、一番いいなと思うスタイルを選んでください。

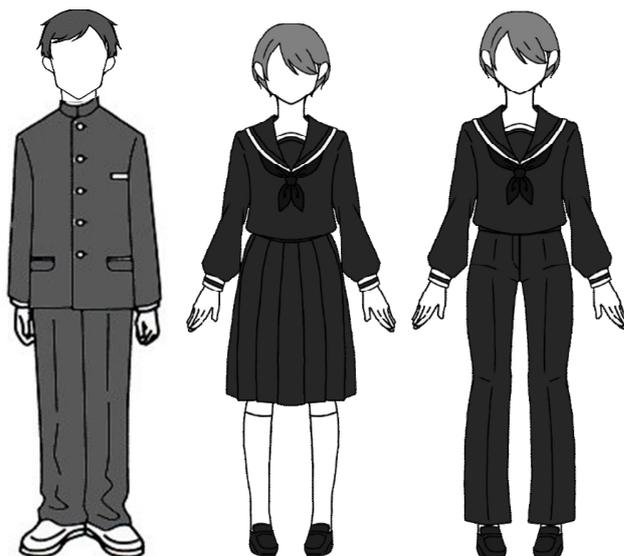
スタイル		特徴	いいところ	わるいところ
ジャケット タイプ	スーツ	上着とズボン・スカートの色や素材が同じ ※いまの増穂中学校 女子生徒用の制服と 同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差<small>かんなんさ</small>に対応しやすい。 ・動きやすい。 ・リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム数が増えるので値段が高くなる
	ブレザー	上着とズボン・スカートの色や素材が違う	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差<small>かんなんさ</small>に対応しやすい。 ・動きやすい ・リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム数が増えるので値段が高くなる
つめえり タイプ		※いまの増穂中学校、鵜沢 <small>うさざわ</small> 中学校の男子生徒用の制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・成長過程<small>せいちょうかてい</small>でサイズの調整がしやすい ・アイテム数が少ないので値段が安くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からのスタイルで個性が出しにくい ・首周り<small>くびまわり</small>がきゅう屈<small>くつ</small>になる ・「ジェンダーレス」に対応しにくい※
セーラー タイプ		※いまの鵜沢 <small>うさざわ</small> 中学校の女子生徒が着用している制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・脱ぎ着がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差<small>かんなんさ</small>に対応しにくい ・「ジェンダーレス」に対応しにくい※

※「ジェンダーレス」とは、男とか女とかの区別をなくしていこうという考え方
例)「男の子は青で、女の子はピンクだ」という考え方 など。

○ジャケットタイプ ⇒ ジャケットタイプを選んだ人は『5の質問』へ



○つめえり・セーラータイプ ⇒ つめえり・セーラータイプを選んだ人は『6の質問へ』

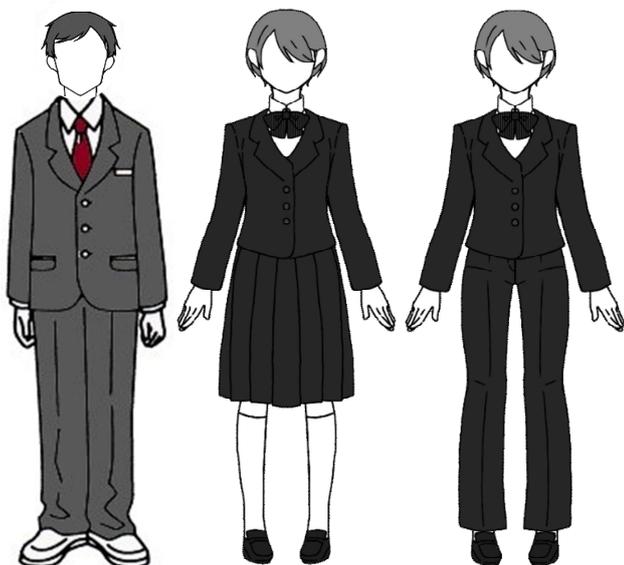


5. ジャケットタイプには「スーツ」と「ブレザー」があります。イラストでも紹介しますので、表と一緒に読みながらみて、いいなと思うスタイルを選んでください。

スタイル		特徴	いいところ	わるいところ
ジャケットタイプ	スーツ	上着とズボン・スカートの色や素材が同じ ※いまの増穂中学校女子生徒用の制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差<small>かんねんさ</small>に対応しやすい。 ・動きやすい。 ・リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム数が増えるので値段が高くなる
	ブレザー	上着とズボン・スカートの色や素材が違う		

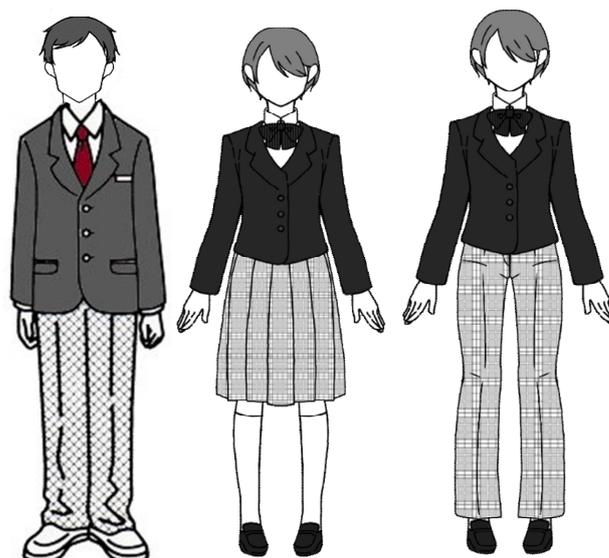
○スーツ

上下が同じ色・素材



○ブレザー

上下が別の色・素材



※スーツ、ブレザーはリボンとネクタイどちらも選択可能
※全てのスタイルにおいて、スカート・ズボン（スラックス）が選択できる

6. 制服について、意見やお願いしたいことがあればご記入ください

（例）ジェンダーレスに対応した制服にしてほしい、キュロット、ネクタイ・リボンも選びたい 等

次に^{たいそうめく}体操服について、意見をお聞かせください。

7. 体操服にもっとも求める条件は何ですか。1つ選んでください

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> ^{きのうせい} 機能性・ ^{たいきゅうせい} 耐久性（動きやすさ・ ^{こわ} 壊れにくさ） | <input type="radio"/> ^{けいざいせい} 経済性（ ^{かかく} 価格） |
| <input type="radio"/> ファッション性（かっこいい・かわいい） | <input type="radio"/> わからない、その他 |

その他を選んだ方はご記入ください

8. 体操服のことで、ご意見やお願いしたいことがあればご記入ください

（今の時点では、まず機能性、耐久性などの意見を聞きます）

次に^{うわばき}上履き・^{たいいくかんばき}体育館履きについて、意見をお聞かせください

9. 上履き・体育館履きに関して、ご意見やお願いしたいことがあればご記入ください

（今の時点では、まず機能性、耐久性などの意見を聞きます）

ご協力いただき、ありがとうございました。

新たな中学校の制服・体操服等に関するアンケート

保護者・教職員用

新中学校開校検討委員会 地域部会

令和7年4月に、増穂中学校と鯉沢中学校が統合し、新たな中学校が誕生予定です。

新たな中学校の開校に向けて、新中学校開校検討委員会 地域部会では、制服・体操服等やPTAに関することを検討しています。令和3年10月に令和5年4月の開校に向けて制服・体操服等に関するアンケートを実施しました。しかし、開校が2年延期になったことから、地域部会では、新中学校に通われる児童生徒・保護者の方を対象として、改めてアンケートを実施することとしました。

新たな中学校がより良い学校になるよう、ぜひご協力ください。

なお、今回のアンケートは、制服のスタイルについてのみをお答えいただきます。色や柄、素材については、別にお聞きする機会を設けたいと考えています。

※対象となる児童・生徒人数分ご回答ください

1. 次に当てはまるものを1つ選択してください

児童・生徒 保護者 教職員

2. 学校名を1つ選択してください

増穂小学校 増穂南小学校 鯉沢小学校 増穂中学校 鯉沢中学校

3. 学年を1つ選択してください

小学1年生 小学2年生 小学3年生
小学4年生 小学5年生 小学6年生
中学1年生 中学2年生 中学3年生

4. 制服のスタイルについてお聞きします。

これまで、富士川町内の中学校においては、

「学校の一員であるという自覚や連帯感を促し、規律心が育つ」

「式服としての意味を持ち合わせ、冠婚葬祭、どの場面においても着用できる」

といったことから、制服を定め、着用することとしてきました。

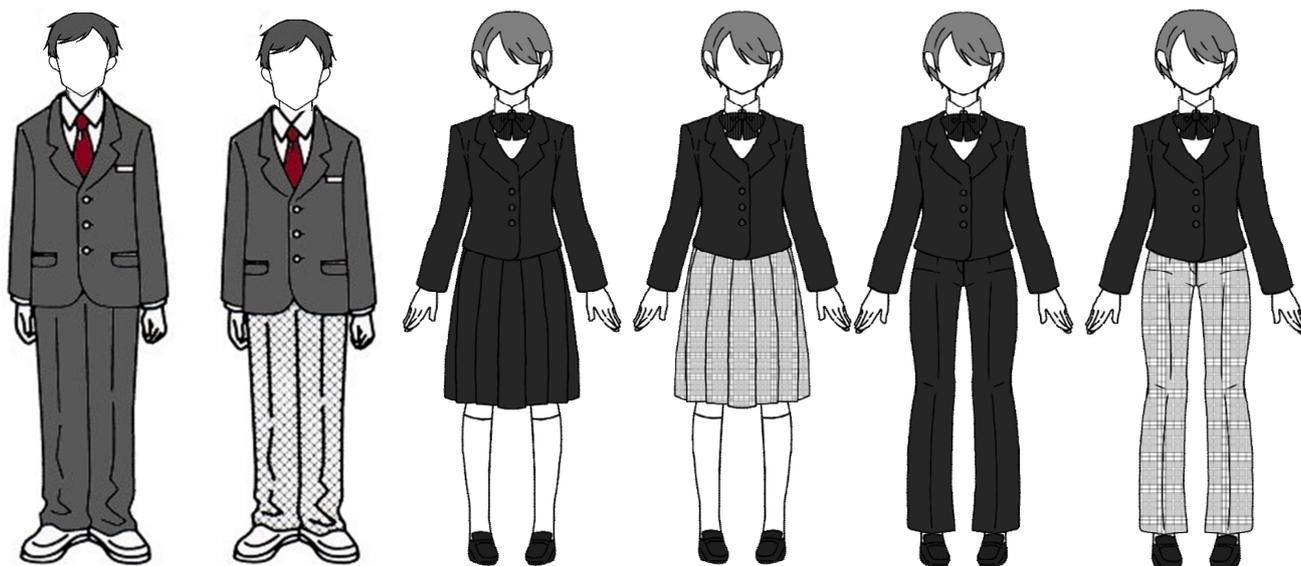
これから開校する新たな中学校においても、同様のことが言えると考えます。

そこで、新たな中学校において、制服を選定するとした場合、どのようなスタイルの制服が良いかお伺いします。

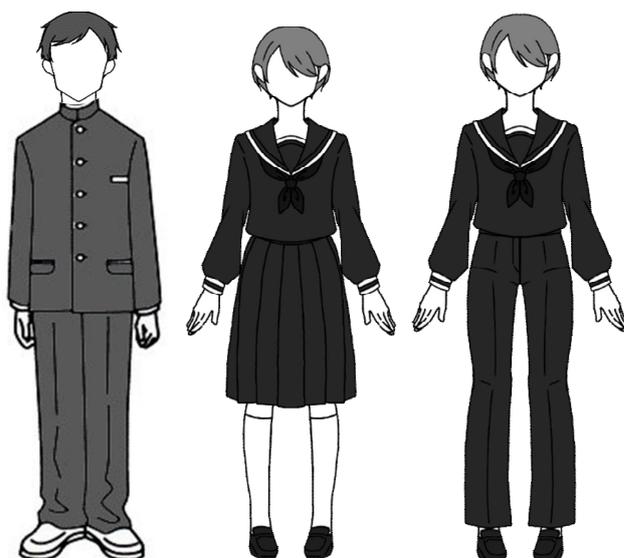
スタイル		特徴	いいところ	わるいところ
ジャケット タイプ	スーツ	上着とズボン・スカートの色や素材が同じ ※いまの増穂中学校 女子生徒用の制服と 同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • 寒暖差<small>かんだんさ</small>に対応しやすい。 • 動きやすい。 • リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • アイテム数が増えるので値段が高くなる
	ブレザー	上着とズボン・スカートの色や素材が違う	<ul style="list-style-type: none"> • 寒暖差<small>かんだんさ</small>に対応しやすい。 • 動きやすい • リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • アイテム数が増えるので値段が高くなる
つめえり タイプ		※いまの増穂中学校、鵜沢中学校の男子生徒用の制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • 成長過程<small>せいちょうかてい</small>でサイズの調整がしやすい • アイテム数が少ないので値段が安くなる 	<ul style="list-style-type: none"> • 昔からのスタイルで個性が出しにくい • 首周り<small>くびまわり</small>がきゅう屈<small>くつ</small>になる • 「ジェンダーレス」に対応しにくい※
セーラー タイプ		※いまの鵜沢中学校の女子生徒が着用している制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • 脱ぎ着がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 寒暖差<small>かんだんさ</small>に対応しにくい • 「ジェンダーレス」に対応しにくい※

※「ジェンダーレス」とは、男とか女とかの区別をなくしていこうという考え方
例)「男の子は青で、女の子はピンクだ」という考え方 など。

○ジャケットタイプ ⇒ ジャケットタイプを選んだ人は『5の質問』へ



○つめえり・セーラータイプ ⇒ つめえり・セーラータイプを選んだ人は『6の質問へ』

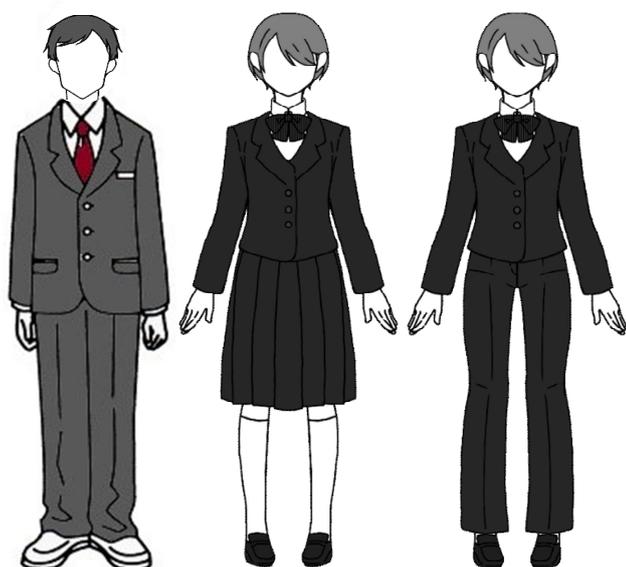


5. ジャケットタイプには「スーツ」と「ブレザー」があります。イラストでも紹介しますので、表と一緒に読みながらみて、いいなと思うスタイルを選んでください。

スタイル		特徴	いいところ	わるいところ
ジャケットタイプ	スーツ	上着とズボン・スカートの色や素材が同じ ※いまの増穂中学校女子生徒用の制服と同タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ・寒暖差<small>かんなんさ</small>に対応しやすい。 ・動きやすい。 ・リボンやネクタイなど色々な選択ができ個性を出しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム数が増えるので値段が高くなる
	ブレザー	上着とズボン・スカートの色や素材が違う		

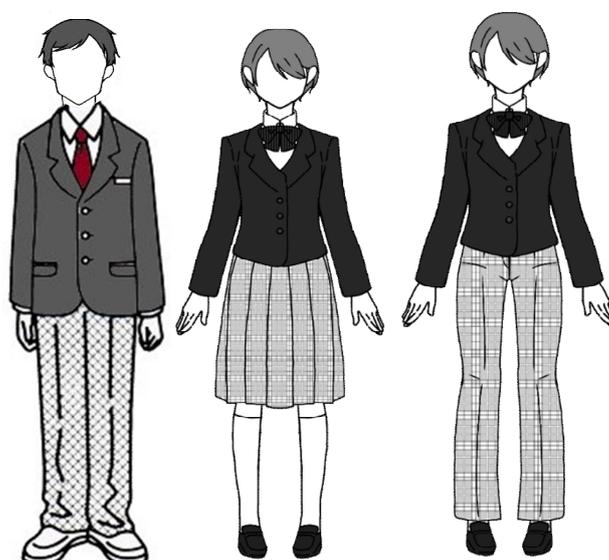
○スーツ

上下が同じ色・素材



○ブレザー

上下が別の色・素材



※スーツ、ブレザーはリボンとネクタイどちらも選択可能

※全てのスタイルにおいて、スカート・ズボン（スラックス）が選択できる

6. 制服に関してご意見、ご要望があればご記入ください

(例) ジェンダーレスに対応した制服にしてほしい、キュロット、ネクタイ・リボンも選びたい など

次に^{たいそうふく}体操服について、ご意見をお聞かせください。

7. 体操服にもっとも求める条件は何ですか。1つ選択してください

- ^{きのうせい}機能性・^{たいきゅうせい}耐久性 (動きやすさ・壊れにくさ) ^{けいざいせい}経済性 (価格)
- ファッション性 (かっこいい・かわいい) その他

その他を選択された方はご記入ください

8. 体操服に関して、ご意見、ご要望があればご記入ください

(現段階では、まず機能性、耐久性等の意見を確認します)

次に^{うわばき}上履き・^{たいいくかんばき}体育館履きについて、ご意見をお聞かせください

9. 上履き・体育館履きに関して、ご意見、ご要望があればご記入ください

(現段階では、まず機能性、耐久性等の意見を確認します)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。